

書式第 4 7

【書類名】 特許料納付書（補充）

（【提出日】 令和 年 月 日）

【あて先】 特許庁長官 殿

【特許番号】

【請求項の数】

【特許権者】

【氏名又は名称】

【納付者】

【識別番号】

【住所又は居所】

【氏名又は名称】

【納付年分】 第 年分

（【特許料の表示】）

（【予納台帳番号】）

（【補充金額】）

【その他】 補充指令書発送日 令和 年 月 日

〔備考〕

- 1 予納した見込額からの納付の申出を行うときは、~~「【納付者】」の欄に印を押すか又は識別ラベルをはり、~~「（【特許料の表示】）」の欄の「（【予納台帳番号】）」には予納台帳の番号を、「（【補充金額】）」には見込額から納付に充てる特許料の額（「円」、「,」等を付さず、アラビア数字のみで表示すること。）を記載する。
- 2 特許印紙又は現金（納付書を用いた場合に限る）により特許料を納付するときは、「（【特許料の表示】）」の欄の記載は不要とする。特許印紙は下の余白部分にはり、その上にその額を括弧をして記載する。現金納付に係る納付済証は別の用紙にはり、添付する。また、特例法施行規則第 4 1 条の 9 に規定する納付情報により特許料を納付したときは、「（【特許料の表示】）」の欄の「（【予納台帳番号】）」を「【納付番号】」とし、納付番号を記載する。この場合において、「（【補充金額】）」の欄は設けるには及ばない。
- 3 昭和 6 2 年 1 2 月 3 1 日以前にした特許出願に係る特許料を納付するときは、「【請求項の数】」の欄を「【発明の数】」とする。
- 4 その他は、特許法施行規則様式第 7 0 の備考と同様とする。

（改訂令和 2・12元・7）